

兵庫県立大学大学院地域資源マネジメント研究科研究等一覧
(令和2年4月～令和3年3月)

エコ(生態学)領域

佐川志朗 教授

【学術論文】

伊藤 岳, 佐川 志朗 (2020) 兵庫県北部鎌谷川流域で観察された淡水カメ類3種の体部欠損" 爬虫両棲類学会報 2020(1):49-53.

田和 康太, 佐川 志朗 (2020) 豊岡盆地のコウノトリ育む水田水域におけるカエル類保全の取り組み効果. 爬虫両棲類学会報 2020(2):186-194.

内藤 和明, 福島 庸介, 田和 康太, 丸山 勇氣, 佐川 志朗 (2020) 豊岡盆地の水田におけるコウノトリ育む農法の生物多様性保全効果. 日本生態学会誌 70:217-230.

Tawa K, Sagawa S (2020) Stable isotopic analysis of stuffed specimens revealed the feeding habits of Oriental Storks *Ciconia boyciana* in Japan before their extinction in the wild. Journal of Ornithology 162:193-206.

皆川 明子, 若宮 慎二, 竹下 邦明, 佐川 志朗, 河口 洋一, 村瀬 潤, 都築 隆禎, 深澤 洋二, 江崎 保男(2020) 水田への魚類の遡上を促す遡上板の開発. 応用生態工学 23:79-84.

田和 康太, 松本 令以, 佐川 志朗 (2021) 農地における再導入コウノトリ *Ciconia boyciana* の救護・死亡箇所の特徴とその食性. 野生復帰 9:59-67.

佐川 志朗 (2021) 地域資源マネジメント研究の創刊に寄せて. 地域資源マネジメント研究 1:1.

【学会発表】

大逸 優人, 田和 康太, 森 照貴, 佐川 志朗. コウノトリ野生復帰地における湿地環境の人為的創出-水生動物群集の特徴と相補的管理- 日本生態学会第 68 回全国大会岡山, オンライン, 2021年3月17日～21日.

末本 貴大, 森本 祈恵, 佐川 志朗. カジカガエル幼生の耐流水性. 日本生態学会第 68 回全国大会岡山, オンライン, 2021年3月17日～21日.

【外部資金の獲得状況】

人工物が野生復帰コウノトリに与える負の効果解明と対応策検討～人間活動の光と影. 科研費基盤(C), 代表, 2018～2020年, 総額4,420千円.

大迫義人 教授

【学術論文】

大迫 義人 (2021) コウノトリの野生復帰—個体識別によるモニタリング—. コウノトリ (日本野鳥の会ひょうご会報) 241:4-8.

【学会発表】

内藤 和明, 松本 令以, 星野 由美子, 高橋 誠二, 船越 稔, 柴折 史昭, 堀江 真優, 大迫 義人. コウノトリの繁殖モニタリングにおける写真およびビデオ映像の活用例とその比較. 第 68 回日本生態学会大会, 岡山, 2021 年 3 月 19 日.

【外部資金の獲得状況】

2018-2020 年度 基盤研究 (C) 「人工物が野生復帰コウノトリに与える負の効果解明と対応策検討～人間活動の光と影」, 分担, 1,200 千円, 総額 4,420 千円.

【その他】

兵庫県が実施している「コウノトリの野生復帰事業」における野外コウノトリの行動生態学的研究 (繁殖状況の調査, 目撃情報の収集, 生存野外個体数の推定, 人工衛星による追跡, 行動圏の特定など)

大迫 義人. コウノトリの野生復帰—2020 年の繁殖状況—. コウノトリ野生復帰推進連絡協議会, 豊岡, 2020 年 8 月 5 日.

大迫 義人. コウノトリの野生復帰—野外コウノトリ 200 羽到達—. コウノトリファンクラブの集い「野外コウノトリ 200 羽記念イベント」, 豊岡, 2020 年 9 月 29 日.

大迫 義人. コウノトリ野生復帰ランドデザイナー—中期目標達成に向けて—. 兵庫県立コウノトリの郷公園運営懇話会, 豊岡, 2020 年 9 月 30 日.

大迫 義人. 塔設置の科学的指針. コウノトリ野生化対策懇話会, オンライン, 2021 年 2 月 4 日.

大迫 義人, 内藤 和明. 兵庫県立大学が推進しているコウノトリの野生復帰—野外コウノトリ 200 羽到達— 第 16 回共生のひろば (オンライン), 三田, 2021 年 2 月 11 日.

内藤和明 准教授

【著書】

Manabe T, Baba M, Naito K, Ito K (2020) Evaluation of habitat functions of urban forests for wildlife: the case of Kitakyushu City, from gene to landscape. In: Ito K (ed) Urban Biodiversity and Ecological Design for Sustainable Cities. Springer, pp. 273-291. (第 12 章)

【学術論文】

内藤 和明, 福島 庸介, 田和 康太, 丸山 勇氣, 佐川 志朗 (2020) 豊岡盆地の水田における
コウノトリ育む農法の生物多様性保全効果. 日本生態学会誌 70:217-230.

【学会発表】

内藤 和明, 松本 令以, 星野 由美子, 高橋 誠二, 船越 稔, 柴折 史昭, 堀江 真優, 大迫 義
人. 写真およびビデオ映像を活用したコウノトリの繁殖モニタリング手法とその比較.
第 68 回日本生態学会大会, 岡山, 2021 年 3 月 19 日.

福島庸介, 内藤和明 (2021) 「コウノトリ育む農法」実施農家の農法への認識の多様性. 第 68
回日本生態学会大会, 岡山, 2021 年 3 月 19 日.

【外部資金の獲得状況】

文化的景観の維持管理における保存会組織の役割と指定物件の保全状況に及ぼす効果. 科研
費基盤(C), 代表, 2020~2022 年.

出口智広 准教授

【学術論文】

Orben RA, Adams J, Hester M, Shaffer SA, Suryan RM, Deguchi T, Ozaki K, Sato F, Young
LC, Clatterbuck C, Connors MG, Kroodsmas DA, Torres LG (2021) Across borders:
External factors and prior behaviour influence North Pacific albatross associations with
fishing vessels. Journal of Applied Ecology, 58: 1272-1283.

ジオ（地球科学）領域

川村教一 教授

【学術論文】

佐野 恭平, 松原 典孝, 菊池 義浩, 川村 教一 (2021) ジオパークにおける野外実習とグル
ープワークを組み合わせた全学共通科目の成果と課題：夏季集中講義「ジオパークと地
域」を例として. 地域資源マネジメント研究 1:2-21

川村 教一, 崎山 正人 (2021) 兵庫県養父市関宮町及び大屋町とその周辺に分布する近世・
近代の蛇紋岩石造物の石材産地と用途の変遷. 人と自然 31:41-54.

伊藤 拓海, 川村 教一 (2020) 兵庫県新温泉町新市の霊場付近に産する「石のハナ」の伝承に
ついて (予報). 地質と文化 3(2):56-60.

川村 教一 (2020) 秋田県湯沢市上院内から産した「院内石」と歴史的建築物石材の帯磁率に
よる対比. 地質と文化 3(2):50-55.

川村 教一 (2020) 自然災害の誘因と自然素因の視点を踏まえた理科教育の課題:学習指導要領解説と学術書の分析から. 防災教育学研究 1(1):93-106.

川村 教一 (2020) 大分県国東半島に分布する霊場内岩窟の地形・地質学的特徴. 地質と文化 3(1):25-35.

【学会発表】

瀧本 家康, 川村 教一. 地理院地図を用いた水害の探究実習の実践. 日本地理学会 2021 年春季学術大会, 2021 年 3 月 28 日.

澤口 隆, 田口 瑞穂, 川村 教一. 高解像度の地質露头画像を利用した教育用ウェブページの開発: 自然災害リスクについての大学生向け評価例. 日本科学教育学会研究会研究報告, 2021 年 3 月 7 日.

川村 教一, 瀧本 家康. 外水氾濫災害の自然素因分析を主題とした授業の成果と課題: 地理院地図を活用した例. 日本科学教育学会研究会研究報告, 2021 年 3 月 7 日.

川村 教一. 南海トラフ地震を見据えた地震教育のあり方. 防災教育学会第 1 回大会, 2020 年 12 月 6 日.

川村 教一, 澤口 隆, 森永 速男, 吉本 直弘. 近畿地方出身の大学生を対象とした自然災害のアンケート調査結果. 日本理科教育学会近畿支部大会, 2020 年 11 月 28 日.

澤口 隆, 田口 瑞穂, 川村 教一. 大学生を対象とした自然災害に関する認識についてのアンケート調査結果. 日本地学教育学会第 74 回全国大会オンライン大会, 2020 年 11 月 8 日.

岡田 大爾, 越智 秀二, 川村 教一. 土砂災害の野外研修. 日本地学教育学会第 74 回全国大会オンライン大会, 2020 年 11 月 8 日.

川村 教一. 河川氾濫による災害に関する地学教育の課題. 日本地学教育学会第 74 回全国大会オンライン大会, 2020 年 11 月 8 日.

川村 教一. 兵庫県南部地震後の科学教育における地震学習の成果と課題. 日本科学教育学会第 44 回年会, 2020 年 8 月 25 日.

川村 教一. ジオシステムの視点で見る自然災害の教育. 日本理科教育学会第 70 回全国大会, 2020 年 8 月 22 日.

岡田 大爾, 越智 秀二, 川村 教一. 科学的知識と科学的思考力を活かした防災・減災教育ジ

オシステムにもとづく教材開発. 日本理科教育学会第 70 回全国大会, 2020 年 8 月 22 日.

川村 教一. 大分県北部の山岳霊場としての岩窟付近の地形・地質. 日本地球惑星科学連合 2020 年大会, 2020 年 7 月 14 日.

川村 教一. ビジターが共感するジオパークのストーリーをどのようにつくるか. 日本地球惑星科学連合 2020 年大会, 2020 年 7 月 13 日.

川村 教一, 山下 清次. 雲がつくるジオパークの気象景観: 男鹿半島西部の山地に起因する列状積雲. 日本地球惑星科学連合 2020 年大会, 2020 年 7 月 12 日.

川村 教一, 瀧上 豊. 地学オリンピックの現状と今後の課題 (2020). 日本地球惑星科学連合 2020 年大会, 2020 年 7 月 12 日.

【外部資金の獲得状況】

ジオシステムの視点を導入した自然災害に関する科学教育の開発. 科研費基盤(B), 代表, 2020~2022 年.

ウェブ地図を用いて水害リスクを発見する能力を育成する教育プログラムの開発と評価. 河川基金, 代表, 2020 年.

院内石や近県産の凝灰岩類の磁性比べ. ゆぎわジオパーク研究奨励事業, 2020 年.

松原典孝 講師

【学術論文】

Hosoi J, Danhara T, Iwano H, Matsubara N, Amano K, Hirata T (2020) Development of the Tanakura strike-slip basin in Japan during the opening of the Sea of Japan: Constraints from zircon U-Pb and fission-track ages. *Journal of Asian Earth Sciences* 190:1-10.

【学会発表】

松原 典孝, 郡山 鈴夏. 岩相解析に基づいた山陰海岸ジオパーク兵庫県北部エリアにおける 2 タイプの中新世火山体の復元. 日本地球惑星科学連合 2020 年大会, 2020 年 7 月.

【外部資金の獲得状況】

ジオストーリー開発による地球科学リテラシーの向上. 科研費基盤(C), 代表, 2020~2023 年.

【その他】

日本ジオパーク現地審査員 (糸魚川, 湯沢), 日本地質学会地域地質セッションコンビーナ, 日本地球惑星科学連合大会パブリックジオパークセッション代表コンビーナ

佐野恭平 助教

【学会発表】

Sano K, Sato E. Magma fracturing, oxidation and nanolite crystallization processes during silicic magma eruption: Implication from textural and chemical analyses on oxidized obsidian. 日本地球惑星科学連合 2020 年大会, 2020 年 7 月.

ジオパークと地域資源マネジメント～ジオパークについて大学院生と一緒に考えてみた～, 日本地球惑星科学連合 2020 年大会, 2020 年 7 月.

並木 敦子, 田中 幸恵, 奥村 聡, 佐々木 理, 佐野 恭平, 竹内 晋吾. マグマ破碎の可能性の尺度として Q が重要. 日本地球惑星科学連合 2020 年大会, 2020 年 7 月.

金山 恭子, 太田 悠造, 岩本 有樹, 郡山 鈴夏, 山下 明男, 小玉 芳敬, 菅森 義晃, 佐野 恭平. 民間・行政・専門家連携による海のアクティビティガイド資質向上に向けた取り組み～山陰海岸ジオパーク GEO×アクティビティプロジェクト～ 日本地球惑星科学連合 2020 年大会, 2020 年 7 月.

【外部資金の獲得状況】

ジオストーリー開発による地球科学リテラシーの向上. 科研費基盤(C), 分担, 2020～2023 年, 20 万円.

ソシオ（人文社会科学）領域

中井淳史 教授

【学術論文】

中井 淳史 (2020) 好古・弄古・尚古と考古 さまざまな「古」へのまなざしー集古会と近代アカデミズムにみる. 美術フォーラム 21 刊行会『美術フォーラム 21』42:54-61

【外部資金の獲得状況】

日中流通拠点遺跡資料に基づく中世土器・陶磁器編年と中世考古学方法論の再構築. 科研費基盤(C), 代表, 2018～2020 年.

山室敦嗣 教授

【学術論文】

山室 敦嗣 (2021) 2019 年度豊岡市環境審議会の意見. 2019 年度豊岡市環境報告書, 76 p.

山室 敦嗣 (2021) 地域づくりと風景. ニューズ RRM, 22:1.

【学会発表】

山室 敦嗣. フィールド調査は何を「問い」にできる／できないのか? 第93回日本社会学会大会シンポジウム, 2020年11月1日.

【外部資金の獲得状況】

原子力施設立地点における住民の生活保全とコミュニティ形成に関する実証的研究. 科研費基盤(C), 代表, 2019~2021年.

現代農山漁村における「生産のある生活空間」に関する環境社会学の新たな分析枠組構築. 科研費基盤(B), 分担, 2020~2024年.

ポスト農業社会の食・農・自然に視点をおいた農業社会学の構築. 科研費基盤(B), 分担, 2019~2021年.

文化的景観の維持管理における保存会組織の役割と指定物件の保全状況に及ぼす効果. 科研費基盤(C), 分担, 2020~2022年.

矢ヶ崎太洋 講師

【学術論文】

矢ヶ崎 太洋 (2021) 東日本大震災の津波災害に伴う人口移動と再定住—地域社会の復興と再編に与える影響—. 農村計画学会誌 39:382-383.

飯塚 遼, 矢ヶ崎 太洋, 菊地 俊夫 (2021) ビールツーリズムを通じたロカリティの再編と広域化—フランス・ノール県ダンケルク郡を事例に— 観光科学研究 14:87-96.

太田 慧, 矢ヶ崎 太洋 (2021) オーストラリア・ケアンズにおける海岸リゾートの発展—ケアンズ近郊パームコーブの事例— 観光科学研究 14:127-133.

【学会発表】

矢ヶ崎 太洋. レジリエンス概念を導入した災害地理学の展開—東日本大震災後の地域社会の復興と再編を事例に— 2021年度日本地理学会春季学術大会, 2021年3月.

【受賞等】

地理空間学会 2020年度奨励賞, 2020年6月21日.